

Ⅲ 平成20年度社会保障財源の概要

平成20年度の社会保障財源の総額は101兆5,378億円である。

- (1) 項目別割合をみると、社会保険料が56.6%、公費負担が32.2%、他の収入が11.2%となっている。
- (2) 対前年度比は1.1%の増加となった。

表7 項目別社会保障財源

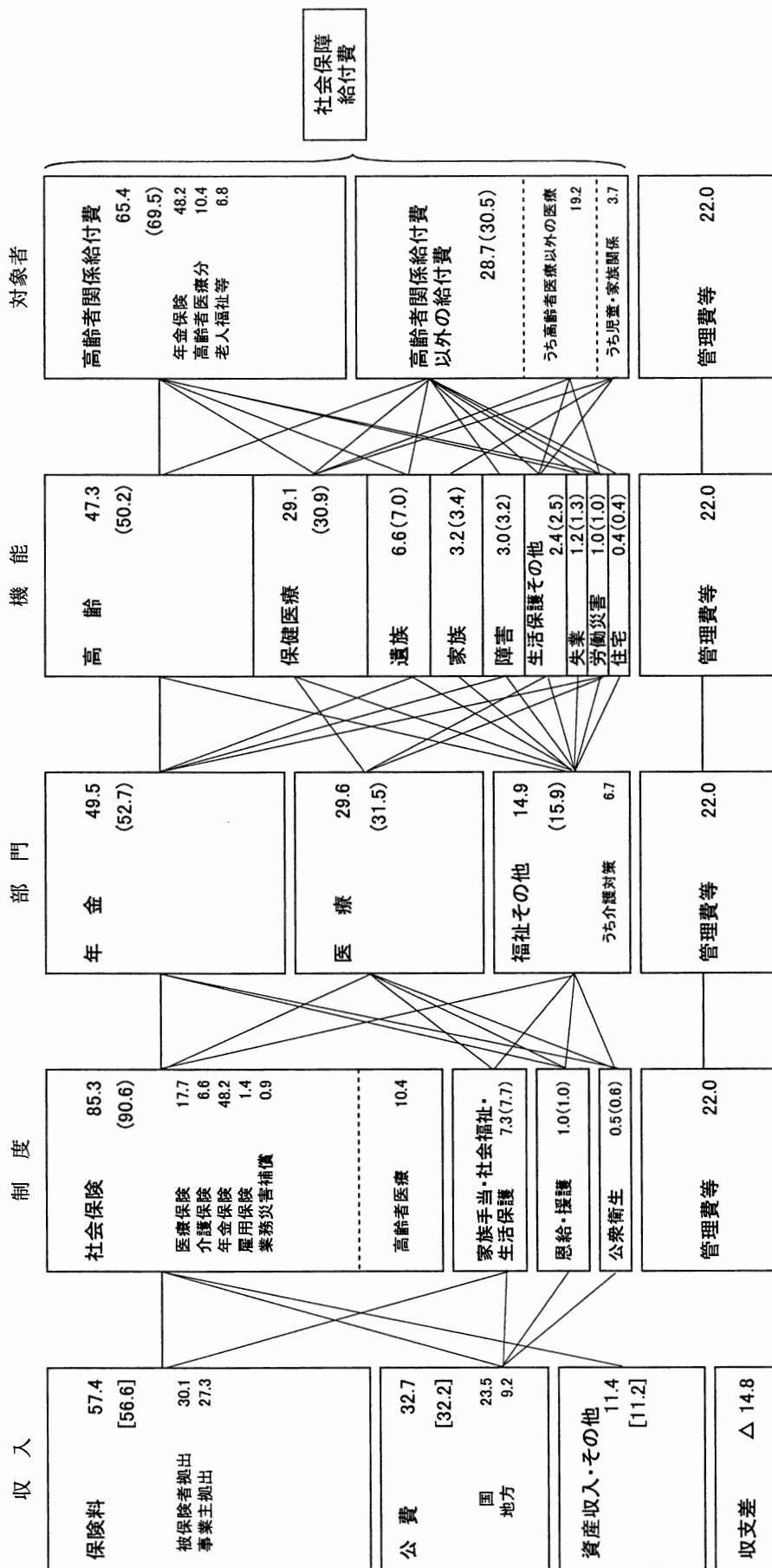
	平成19年度	平成20年度	対前年度比	
			増加額	伸び率
	億円	億円	億円	%
計	1,004,289 (100.0)	1,015,378 (100.0)	11,088	1.1
I 社会保険料	568,740 (56.6)	574,476 (56.6)	5,736	1.0
事業主拠出	272,010 (27.1)	273,261 (26.9)	1,251	0.5
被保険者拠出	296,730 (29.5)	301,215 (29.7)	4,485	1.5
II 公費負担	310,368 (30.9)	327,015 (32.2)	16,647	5.4
国	221,900 (22.1)	234,670 (23.1)	12,770	5.8
地方	88,468 (8.8)	92,345 (9.1)	3,878	4.4
III 他の収入	125,181 (12.5)	113,886 (11.2)	△ 11,295	△ 9.0
資産収入	20,363 (2.0)	7,601 (0.7)	△ 12,761	△ 62.7
その他	104,818 (10.4)	106,285 (10.5)	1,467	1.4

(注)

1. () 内は構成割合である。
2. 「他の収入」については、公的年金制度等における運用実績により変動することに留意する必要がある。
また、「その他」は積立金からの受入を含む。

図3 収入、制度、部門、機能、対象者からみた社会保障給付費（2008（平成20）年度）

（単位：兆円、％）



（注）

1. 「児童・家族関係」は、社会保障給付費のうち、医療保険の出産育児一時金、雇用保険の育児休業給付、保育所運営費、児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当等である。
2. 制度別の「高齢者医療」、対象者別の「高齢者医療分」には、後期高齢者医療制度からの医療給付額及び老人保健制度からの平成20年3月分の医療給付額等が含まれている。
3. 平成20年度の社会保障収入は101.5兆円（他制度からの移転を除く）であり、〔 〕内は社会保障収入に対する割合。
4. 平成20年度の社会保障給付費は94.1兆円であり、（ ）内は社会保障給付費に対する割合。